

ハクサイ



ハクサイ担当
近藤 英郎

おすすめは作りやすくおいしい「黄ごころ」!

直売所出荷向きの品種選定

お客様が直売所に向かう目的は何でしょうか?

生産者の皆様が日々の栽培管理の中で、たっぷりの愛情を注ぎ手間ひまかけて野菜を作る。その収穫したての新鮮で安全な野菜を、安心して食べることができる……これが直売所の大きな魅力だと思います。

今回は、秋から冬にかけて連続的に安定して出荷ができる作りやすい品種を紹介します。

連続出荷におすすめ 「黄ごころ」シリーズ!

作型ごとに適した品種を作って連続出荷をすれば、リピーターが増えてくると思います。“安定した連続出荷”には「黄ごころ」シリーズがおすすめです。「黄ごころ」シリーズは肥大性が良好で作りやすく、病害や生理障害の発生が少ない点が特長です。また、球内色が鮮やかな黄色で品質もすぐれます。

早生種、中早生種なら…

「黄ごころ65」「黄ごころ75」はともに軟腐病などの病害に強く、芯腐れ症・縁腐れ・ゴマ症などの生理障害の発生が少ない品種です。「黄ごころ65」は早生性、「黄ごころ75」は多収性が特長です。

中生種なら…

生理障害のひとつ、芯腐れ症は、一般的には水田土壌の方が火山灰土壌より発生しやすい傾向にあります。水田土壌では芯腐れ症の発生が極めて少なく、低温結球性にすぐれる「黄ごころ85」をおすすめします。

「黄ごころ80」は耐寒性・肥大性がすぐれ、火山灰土壌で特性を発揮する品種です。

中晩生種なら…

耐寒性・晩抽性にすぐれる「黄ごころ90」は1～2月に収穫する品種で、冬の鍋シーズンにおすすめです。

生理障害の発生が少ない
黄芯早生種!

黄ごころ65



- 各種病害に強い黄芯早生種。
- 石灰欠乏症やゴマ症の発生が少ない。
- 玉はやや長めの砲弾形でよくそろい、球色は極濃緑。

月	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地							
中間地							
暖地							

生理障害の発生が少ない黄芯中早生種!

黄ごころ75



- 各種病害に強い黄芯中早生種。
- 石灰欠乏症やゴマ症の発生が少ない。
- 玉は胴張りのよい極濃緑の砲弾形で、過熟になりにくい。

ブリーダース・アイ

連続出荷のための「黄ごころ」シリーズ
ローテーション (*中間地を基準)

11月の早どり「65」→年内どり「80」「85」のどちらか1品種→1～2月どり「90」の3品種のリレーで、11月から2月まで連続して安定出荷できます。

11月上旬の早どりをしない方は、「65」の代わりに多収性の「75」を作ることもできます。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
黄ごころ65							
黄ごころ75							
黄ごころ80							
黄ごころ85							
黄ごころ90							

(※適期表はその地域の栽培の目安としてご利用ください)

生理障害の原因と対策について

近年多雨で温暖な天候の年が続いており、生理障害の発生が増えています。生理障害は病害とは異なり、外観からは分かりにくいので、お客様が購入後に気付かれる場合が多くあります。「黄ごころ」は生理障害の発生が少ないシリーズですが、もちろん完全ではなく、栽培面での対策と併せた対応が必要です（図）。

芯腐れ症（写真①）

原因 直接の原因は葉のカルシウム欠乏ですが、土壌中に十分な量のカルシウムがあっても発生する場合があります。発生しやすい条件は、①土壌のチッソ過多、②植物体が急激な生長をする時に水を十分に吸えない状態です。②は特に芯葉立ち上がり期の乾燥、根張り不足と根の老化が大きく影響します。

対策

①チッソ過多

よい土づくりをしようと、チッソ成分の多い堆肥を多量に施用した時にも芯腐れは発生しやすくなります。化成肥料も含めて適量の施肥を行い、チッソ施肥量を控えるようにします。

②植物体が水を吸えない

芯葉立ち上がり期の乾燥 急激に生育をする芯葉立ち上がり期に、植物体は多くの水を必要とします。その時期に乾燥しないよう、適宜灌水を行います。

根張り不足 根張りをよくするためには、若苗定植と緑肥栽培による土壌改良が有効です。

若苗定植すると早期に活着して生育初期に根が深く入り、乾燥条件でも水分を吸いやすくなります。根が張って苗を抜いても根鉢がくずれないようにすれば、定植適期の若苗です。

緑肥を栽培してすき込むと、根が深く入るので耕土が深くなり、土壌に多量の有機物が入り、土壌物理性が改良されます。

根の老化 過熟になって根が老化しないよう、適期収穫をします。

私の食卓

餃子は私の好物のひとつですが、具には必ずハクサイを入れます。焼きたての餃子を口に入れた時のジューシー感が最高です。ちなみにわが家の餃子の具の黄金比は、豚ひき肉3、ハクサイ6、ネギ1の割合です。品質のすぐれる「黄ごころ」シリーズは、餃子に特におすすめです。



↑手作り餃子にハクサイをたっぷり入れて、ジューシーな味わいを楽しんで！

縁腐れ症・ゴマ症・芯空洞症（写真②③④）

原因 この3つの症状は生育が極旺盛な時に発生しやすく、その条件は①土壌のチッソ過多、②温暖化、③過熟です。

対策

①チッソ過多

芯腐れ症の対策と同じです。

②温暖化

温暖化で秋の気温が高くなっており、今までと同じ播種日で栽培しては生育が極旺盛になりすぎ、熟期が想定より早くなってしまいます。そこで播種期を後ろにずらして、じっくりと生育するようにします。ただし、根巻きしてしまった老化苗を定植すると、乾燥や過湿などの不良条件の時に活着不良・生育遅延の原因になるので、若苗定植を行います。

③過熟

収穫遅れは過熟・老化を引き起こすので、適期収穫を心掛けます。

図 ハクサイの症状



①芯腐れ症



②縁腐れ症



③ゴマ症



④芯空洞症



「作型に合った品種選定」「適切な圃場」「スムーズな生育」のポイントを押さえれば、レタス栽培は意外に簡単です。また、玉レタス以外のさまざまなタイプのレタス類についても、栽培ポイントは基本的に同じです。

レタスの栽培時期

レタスの生育適温は20℃前後で、比較的冷涼な乾燥した気候を好みます。四季があり、気温の変化が大きい日本でこの気候はなかなかありませんが、中間・暖地では2～3月まき→5～6月どり、8月下旬～9月上旬まき→10月下旬～12月上旬どりの作型、冷涼地では4～8月まき→6～10月どりが、露地でレタス栽培のできる一般的な作型です。

これより気温の低い12月から4月どりは、暖地を中心にハウスやトンネルを利用した被覆栽培になります。被覆栽培は一般的になかなか取り組みにくい作型ですが、果菜類の直売所出荷などでハウスをもたれている方であれば、間作に生育期間が短いレタスを栽培し、ハウスの有効活用を図ってみたいはいかがでしょうか？



→生育期間の短いレタスなら、ハウスの有効活用も可能。

圃場づくり

レタスは日当たりと水はけのよい場所を好みます。栽培はできるだけ水はけのよい圃場を選んで定植します。水はけがあまりよくない場合は、高畝で栽培を行います。

圃場の整地前には毎年、完熟堆肥を10㎡当たり20kg程度施し、膨軟で水もち・排水のよい土壌づくりを行ってください。土壌の最適pHは6～6.5前後です。

レタス類は葉物類の中でも肥料に敏感な作物で、栽培する時期に合わせて肥料の増減が必要になります。基準の施肥量は10㎡当たりのチッソ成分で10月どりなら100～120g、11～12月どりなら120～150g、1～3月どりなら250～300g程度で、土壌の肥沃度によって適宜調整を行います。

マルチフィルムの利用

適湿な土壤水分を保ちスムーズな生育をさせるために、マルチフィルムを利用した栽培をおすすめします。マルチ栽培では肥料の流亡が少ないので、マルチなしの栽培より少ない肥料で栽培ができます。また、雑草抑制の効果や降雨時に土壌の跳ね返りを抑えて病害の発生も少なくなります。低温期は地温確保の目的で黒色マルチ、高温期は地温上昇抑制の目的で白黒マルチ（表側：白・裏側：黒）を使います。



↑土壤水分とスムーズな生育を図るためには、マルチフィルムの使用がおすすめです。

収穫時期別品種選定表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地												
中間地												
暖地												

	玉レタス	非結球レタス		
		レッドリーフ	グリーンリーフ	その他
サウザー	サマーレスター	サマーレスター	サマーレスター	サマーレスター
サウザー	シーカー	サマーレスター	サマーレスター	サマーレスター
マリア	パークレー	レッドファルダ	レッドファルダ	レッドファルダ
スターレイ	ウィザード	レッドファルダ	レッドファルダ	レッドファルダ
シスコ	レガシー	レッドファルダ	レッドファルダ	レッドファルダ
フルバック	冬シスコ	レッドファルダ	レッドファルダ	レッドファルダ

※この表はおおむねの品種適作型を示すものです。詳しい適作型は品種ごとにご確認ください。

出荷のヒント

普段見かけない半結球ミニレタス、ロメインレタス、ステムレタスなどは味や使い方が分からないため、知らないお客様は購入をためられるかもしれません。まずは知ってもらうために食べ方や使い方を貼り出し、玉レタスとセット販売してお買い得感を出してはいかがでしょうか？

栽培Q&A

Q.高温期の栽培でトウ立ちが問題です。抽苔の遅い品種を使う以外に、何か注意する点がありますか？

A.レタスの抽苔は、生育期間に遭遇した気温の蓄積に左右されます。抽苔による品質低下を避けるには、生育を順調に進めることが大切です。本葉2～3枚の若苗定植、定植後の灌水で活着促進、生育期間中の圃場水分などに注意し、生育を停滞させないように心掛けてください。

ダイコン



ダイコン担当
田中 寛

青首系、白首系、いろいろ作っておいしさを提供しよう！

直売所出荷向きの品種選定

青首系品種の連続出荷を目指して

「夏の翼」(中間・暖地10～11月どり)

耐暑性が強く、病気や生理障害にも強く、高温期の栽培に適した品種です。また、曲がり根の発生が少ない青首鮮明な商品性の高い品種です。

「白肌美人」(中間・暖地11月どり)

肌のテリ・ツヤが特にすぐれる品種です。草姿がコンパクトで葉勝ちによる根部形状の乱れが少なく、作りやすいのが特長です。

「YRくらま」「緑輝」(中間・暖地12月どり)

煮炊きすると非常にやわらかい肉質で、最高の品質をもつ2品種です。「YRくらま」はサラダにしても歯切れがよく、特に食感にすぐれます。「緑輝」はやや短めで重量感のある根形になります。

「耐病総太り」「千都」(中間・暖地12月～1月どり)

品種独自の甘みが特に強く、おいしいダイコンの代名詞といえるおすすめの2品種です。「千都」は低温性にすぐれ、根長がやや長めなので、主に1月どりに適します。

私の食卓「三太郎」

本年新発表の「三太郎」は、おいしくて作りやすい短形ダイコンです。高温期を除き栽培が可能な「播種期幅の広さ」と「際立つス入りの遅さ」が、安心して栽培できる秘密です。また、もうひとつの特長である「おいしさ」は煮炊きで最も表現されますが、その緻密な肉質を楽しむには女性や子どもに人気の「塩もみサラダ」がおすすめです。さらに葉のえぐ味も少なく、煮浸しにしてもおいしくいただけます。



←「三太郎」のおいしさが生きる、塩もみサラダ(左)と葉のお浸し(右)。

用途の広い白首系品種なら

「健白」(中間・暖地11月どり)

量販店で扱われるダイコンとの違いを明確にする手段として、白首系総太り品種を出荷してみてもいいでしょうか？ もともと刺身のツマや漬物などの業務加工向けとして育成した品種ですが、シャキシャキした食感で歯切れがよく、品質は青首ダイコンとなら変わりません。草勢がコンパクトで作りやすいのも特長です。しかし、肥大が早く、生育期間が播種後55～60日と短いので収穫遅れにならないよう注意します。



夏の翼

月	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地							
中間地							
暖地							

- 軟腐病に強く、曲がり根の発生が少ない。
- 青首鮮明で肌のテリ・ツヤ良好。
- 肉質は緻密で食味がよい。

栽培に適する圃場とは

良品生産をする上で欠かせないのは排水性、保水性のよい土づくりです。栽培期間中に乾燥や過湿を繰り返すと、裂根やス入り、横縞症などの原因になります。播種の1カ月前までに完熟堆肥などの有機物を投入し、膨軟な土づくりをするよう努めましょう。また、ソルゴーなどの緑肥作物を栽培することも有効です。これは有機物の補給になるだけでなく、緑肥作物の根が土壌のかたい層にまで達し、通気性、排水性の向上に一役買ってくれます。

最適な播種期と株間の調整

「千都」などの冬どり品種を秋どりの作型で栽培すると葉勝ちになり、根部の生育が劣るだけでなく、曲がりや不ぞろいの原因にもなります。一方で「夏の翼」などの秋どり品種を冬どりの作型で栽培すると、短根や肥大不足となり、収穫サイズに達しない場合があるので、品種に合わせた適期播種を心掛けるようにしましょう。

株間は25cmを標準とし、播種期が遅くなるに従い20cm程度まで狭くしていきます。密植にすることで寒風による害を緩和し、じっくり肥大を進めることができるようになります。

肥培管理のポイント

元肥量はチッソ成分で10㎡当たり80～150g程度を目安とし、播種の1～2週間前に施用しますが、栽培する時期や前作によって調節します。比較的暑い時期に播種する場合は少なめに、遅くなるにつれて徐々に多くしていきます。

良品生産のポイントはできるだけ元肥は少なめとし、間引き後（本葉4～5枚のステージ）に葉色を見ながら追肥することです。追肥中心の施肥設計にすることにより生育をコントロールし、曲がり根の発生を軽減します。



↑播種期によって株間を調整することが、その後の肥大にも影響する（写真は主に1月どりに適する「千都」の収穫）。

栽培Q&A

Q. 2月まで品質のよいダイコンを出荷したいのですが、適した品種、栽培方法はありますか？

A. 通常、中間地における冬どりは低温による抽根部の凍結や、霜による葉傷みが問題になります。そこで、年内に不織布など被覆資材で直接覆い、これらの寒害を緩和してやります。また、年明けは寒さで肥料の吸収が鈍くなるため、追肥は葉の生育や根の肥大状況を見ながら適宜行います。品種としては、栽培が長期にわたるため、ス入りの遅い「耐病総太り」や「千都」が適します。これらの管理と品種を用いることで、2月中旬までの良品の出荷が可能になります（※2月下旬以降まで圃場におくと抽苔が問題になります）。



↑年内に不織布で直接覆い、寒害を緩和することで2月中旬までの出荷につなげる。

カブ



カブ担当
田中 寛
たなか ひろし

小カブから色カブまで…品ぞろえ豊富にアピール！

直売所出荷向きの品種選定

小カブのおすすめ

「^{シーアール}CRもちばな」は11月どりまでの比較的高温期の作型で特性を発揮します。被覆栽培においても葉の徒長が少なく、作りやすい品種です。玉の変形やス入りの発生が少ないのも特長です。

「CRゆきばな」は12月どり以降の低温期の作型で特性を発揮します。低温下でも根部の肥大がよく、形状のまとまりがよいのが特長です。さらに肌の白さとテリ・ツヤが特にすぐれる品種です。

色カブなら、コレ！

「^{ひのなかぶ}日野菜蕪」は長型の円筒形状をしており、肉質は^{ちみつ}緻密で風味の豊かな漬物の材料として最適です。桜漬の原料として親しまれている色カブです。

「^{ほんべにあかまるかぶ}本紅赤丸蕪」は鮮紅色が美しい丸型の赤カブで、茎葉も赤くなります。肉質は緻密で歯切れがよく、漬物に最適な赤カブです。



シーアール
CRもちばな

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地										
中間地										
暖地										

- 高温期の栽培で変形・ス入りが少ない春～夏まき用品種。
- 葉は徒長しにくく、葉軸は太くて折れにくい。
- 玉は尻のまとまりがよく、厚みのある扁円形で、根割れが少ない。

ブリーダーズ・アイ

「スワン」でサラダ用カブとしての出荷を！

秋から冬にかけて栽培した「スワン」は特に甘みが強く、食感はまるで柿のようにフルーティーになります。期間限定商品として取り扱えば、注目の的となること間違いありません。中カブ栽培（直径8～10cm）で一度チャレンジしてみてください。



↑ サラダ用カブとして「スワン」のおいしさをアピールしてみても？



← 「CRもちばな」は、玉の変形やス入りの発生が少ない。

肥培管理は元肥中心に

施肥量については土質や前作によって異なりますが、10㎡当たり100～150gとします。収穫後半まで肥料が効きすぎると裂根につながるため、速効性肥料を主体とした元肥中心の施肥設計とします。しかし、大雨などで土壌が過湿になり生育が順調でない場合は、葉面散布によって追肥すると効果的です。

被覆資材を利用したトンネル栽培

「サンサンネット」などの不織布を利用したトンネル栽培により、虫害を防除します。播種前に土壌殺虫剤（粒剤）を土壌へ混和し、播種後すぐに密閉被覆しましょう。

また、小カブは側根が細く、風が強い場所では倒伏する恐れがあります。被覆資材を利用したトンネル栽培は風よけにもなり、倒伏防止につながります。



↑不織布でのトンネル栽培を行うことで虫害を防除し、良質のカブを収穫しよう！

株間の調整

白さび病などの病害軽減のために、株間を広げることをおすすめします。株と株の間が広がると通気性がよくなり、病害軽減につながります。一方で、株間が狭いと葉が軟弱徒長となり、葉色が薄く、葉軸の折れやすい店もちの悪いものになってしまいます。小カブは15cm前後、色カブは20cm前後の株間をおすすめします。

色カブの栽培ポイント

小カブに比べて茎葉が大きくなり、根部形状が乱れやすいので、むやみな夏の早まきは避けましょう。播

種適期は9月上中旬です。肥大は比較的じっくりしていますが、収穫が遅れるとス入りが問題となるので適期収穫を心掛けましょう。播種後50日前後が収穫までの日数の目安となります。収穫サイズは「本紅赤丸蕪」で根径8～10cm程度、「日野菜蕪」で根径2～3cm程度です。

小カブのセルトレイ栽培

セルトレイを利用した栽培で、非常にかわいい小カブ作りができます。72穴のセルトレイとタネまき培土を使用して栽培します。播種後、約1カ月半～2カ月で直径2～3cmの一口サイズの大きさに仕上がります。F G袋に数株ずつ詰めて、新規商品として出荷してみたいかがでしょうか。

（※「そのまんまおでがる菜園セット」での栽培もおすすめです（お求めはお近くの種苗店までお願いします）。）



↑セルトレイを使った小カブ栽培で、一口サイズのカブを出荷するのもおすすめ。

栽培Q&A

Q.生育のそろいが悪く、一斉収穫ができません。

対策はありますか？

A. 発芽ぞろいがそのまま収穫物のそろいへつながります。栽培期間の短い小カブは、特に発芽をそろえることが良品生産の上で非常に重要です。発芽をそろえるためには「均一な覆土を行うこと」が挙げられます。厚さが5mm～1cm程度になるよう丁寧に行い、しっかり鎮圧します。もう一つのポイントは水分管理です。特に高温期に播種する場合は、発芽までの水分に注意が必要です。適湿を保つために、覆土の上からもみ殻などをふることで畝の表面が乾くのを防ぐことができます。

タマネギ



タマネギ担当
吉井 孝光

早生タマネギ栽培で売り上げアップ！

直売所出荷向きの品種選定

今回は早生タマネギの品種、栽培ポイントについてご紹介します。

早生タマネギは4月下旬から5月中旬にかけて収穫でき、その後にトマト、キュウリなどの果菜類を適期に定植することが可能です。限られた圃場を有効利用して、秋作と夏作の両方を行えます。また、今春は寒さにより早生タマネギが傷んでしまい、十分に収穫できなかった方もおられると思いますが、タキイの早生種は寒さに比較的強く、近年の寒暖の差が激しい気候の中でも安定して収穫することができます。

早生タマネギの作付けを増やして圃場回転率をアップし、総合的な売り上げ増加を目指してみたいかがでしょうか。

短期貯蔵もできる早生種「ソニック」

5月上旬から収穫できる早生タマネギです。早生種として耐病・耐寒性が非常にすぐれ、安定して作ることができます。また、早生種でありながら倒伏後1週間ほど、玉じまりを待ってから収穫することで8月までの貯蔵も可能となります。早出しから夏までの貯蔵にと、使い勝手のよい品種といえます。

より早出しをねらうための極早生種「マツハ」「チャージⅡ」

両種はともに4月下旬から5月上旬にかけて収穫できる極早生種です。極早生種の中には、寒さに弱く本来栽培地域が限られるものもありますが、この2品種は暖地から中間地まで幅広く栽培できます。「マツハ」は耐寒性が強く葉の病気にかかりづらく作りやすい品種、「チャージⅡ」は晩抽性にすぐれる品種です。

低温肥大性にすぐれる極早生種！
タキイ交配 マツハ

フリーダール おすすめ



極早生 8月末貯蔵

- 低温肥大性にすぐれ、早出しの切り玉に適する。
- 色ツヤのよい厚めの扁円球でよくそろう。
- 病気に強く生育旺盛で作りやすい極早生種。



玉じまり良好な早生！
夏までの貯蔵も可能！

早生

8月末貯蔵

フリーダール おすすめ

タキイ交配 ソニック

- 生育旺盛で病気に強く、栽培容易。
- 玉は甲高で、早どり可能な早生種。
- 切り玉に適し、貯蔵は8月まで可能。



作りやすい家庭菜園用、
極早生タマネギ！

フリーダール おすすめ

極早生

タキイ交配 チャージⅡ

- 4月下旬～5月上旬収穫の極早生種。
- 辛みが少なく、サラダ用に最適なおいしさ。
- トウ立ちしにくく作りやすく、よく太る。

早生作型は収穫が早いので、病虫害の出にくい作型です。減農薬で安全・安心なタマネギを出荷できます。

苗床での管理

まずはしっかりとした苗を作ることが上作への第一歩です。よくそろい、しまった苗を目指しましょう。F₁種は葉の伸びにすぐれるので、早まきしないように気をつけます。播種は「ソニック」が現地での中生種に近い時期、「マッハ」「チャージⅡ」は中生種より1週間程度早い時期が目安です。播種後、発芽がそろうまでは苗床が乾かないよう、しっかりと灌水を行います。発芽がそろってからは、過度の灌水で徒長や立ち枯れなどを起こさないように注意します。

有機中心の肥料設計で、じっくり生育を進めることが理想です。最近秋が暖かいこともあり、早めに苗が仕上がるので注意してください。若苗定植を心掛け、苗の定植が遅れないように気をつけましょう。



↑発芽がそろってからは徒長や立ち枯れなどを起こさないよう、過度の灌水には気をつける。

本圃での管理

タマネギの根は過湿を嫌うので、水はけのよい圃場を選びます。根張りがよくなることで生育が安定し、病害に強いタマネギになります。また、多収ねらいの過剰な施肥は葉の過繁茂を招き、病気にかかりやすくなってしまいます。畑により異なりますが、10㎡にチッソ分200gの施肥が一般的な目安となります。

マルチ栽培は、地温確保による生育促進と雑草を防ぐためにおすすめです。ただし、生育が進むと植え穴がふさがれてしまいます。肥大期の水不足は玉の肥大不足につながるため、春先に株間に穴をあけて水を入れることで、大きい玉に仕上げます。

早生タマネギは太りが早いので、倒伏前から収穫し、葉付きタマネギとして出荷することもできます。また、貯蔵して出荷する場合は、倒伏してから1週間ほど待ってから収穫すると葉から玉へ養分が十分に転流し、貯蔵性の高いタマネギになります。



↑有機中心の肥料設計とし、じっくり生育を進めることがポイント。

栽培Q&A

Q.早く出荷するためのコツを教えてください。

A.早どりをねらったのむやみな早まきは、生育が進みすぎて地上部が茂りすぎ、逆に収穫が遅れてしまいます。収穫期に8枚ぐらいの葉枚数という状態が適正です。まずは適期播種を心掛けることが重要です。

また、冬場に十分に根が張るようにマルチを利用し、地温と水分を確保するように努め、スムーズに生育させることが大切です。



↑地温確保や雑草防止などメリットがあるマルチ栽培だが、水分不足には注意する。

エンドウ



河西 孝昭
エンドウ担当

食味良好の品種に“鮮度”の付加価値をプラス！

直売所出荷向きの品種選定

エンドウがわが国に伝来してからの歴史は古く、日本人には馴染み深い野菜のひとつです。それだけに、現在では多くの種類のエンドウが流通しており、ひとつの作型で多種類のエンドウを栽培できるという魅力があります。皆さんもぜひ、少量多品種出荷ができるエンドウを直売所向けの品目に取り入れてみてはいかがでしょうか。

エンドウは、収穫後の鮮度低下が非常に激しい野菜です。直売所へ出荷するなら、収穫直後の新鮮な野菜を販売できるという直売所の利点を生かして、特に食味にすぐれた品種を栽培するのがおすすめです。

キヌサヤエンドウの「仏国大莢」

「仏国大莢」は大莢でやわらかく、食味がすぐれる品種です。また、大莢なので見た目のインパクトが強いです。

実エンドウなら「久留米豊」

一般的な品種の「ウスイ」より甘みが強いのが「久留米豊」です。また、子実や莢が濃緑で美しいのも特長です。

スナップエンドウの「グルメ」

「グルメ」はスナップエンドウの中でも特に甘みが強く、おいしい品種です。莢は長さ10cm程度と長く、テリがあって秀品率が高くなります。

ブリーダーズ・アイ

直売所向けの最もおすすめは……スナップエンドウ!

スナップエンドウは、ほかのエンドウに比べて糖度が非常に高く、栄養価もすぐれています。その分、収穫後の品質低下も顕著なため、新鮮なまま出荷できる直売所にはぴったりの野菜です。できるだけ朝の涼しいうちに収穫し、冷蔵庫で保管するといった工夫で鮮度を維持しましょう。

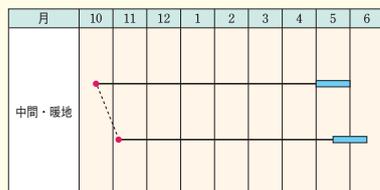


↑収穫前のスナップエンドウ。このおいしさをそのまま提供するためにも、鮮度を維持する工夫を。

大莢で大粒の
甘いグリーンピース!
数量限定



久留米豊 (農林水産省野菜試験場育成)



- 子実・莢とも、濃緑で新鮮味がある実とり専用種。
- むき実が大きくて甘みが強く、品質良好。
- 耐寒性が強く、生育旺盛で作りやすい多収の早生品種。

播種期選定のポイント

エンドウは株が大きくなるにしたがって低温耐性が落ちていきます。秋の播種期を早めると、冬越し前に生育が進みすぎて失敗の原因となります。播種期の設定や防寒対策への下準備はしっかり行いましょう。

灌水・管理のポイント

エンドウは4月以降、気温が上昇する時期に収穫が始まります。一番莢が大きくなるころには積極的に灌水や追肥を行い、莢の肥大を促すことで曲がり莢や硬莢を防ぎます。この時期の灌水は草勢維持にとっても大変重要です。

適期収穫のポイント

エンドウは適期より収穫が遅れると味が落ちてしまいます。こまめな収穫を行うことで良品出荷を心掛け、なおかつ株への負担を減らして長期収穫を目指しましょう。



↑丹精込めて作ったエンドウのおいしさを届けるためにも、適期に収穫することが大切。

スナップエンドウは 適期収穫莢を出荷しよう！

スーパーマーケットなどでは、傷み防止のために若どりのスナップエンドウが置かれているのをよく見かけます。直売所へは、収穫物を新鮮な状態で消費者へ届けられるという利点を生かして、最もおいしい収穫適期莢の出荷をおすすめします。「グルメ」の場合は、莢長が10cm程度で子実が十分に肥大したところが収穫適期です。

栽培Q&A

Q.減農薬栽培のポイントは？

A.生育初期はアブラムシの害が問題になります。畝面にマルチングやシルバーテープなどを使用し、飛来を防ぎます。つるが発生する前の生育初期には、防虫ネットでトンネルをすることも有効です。

栽培中期以降のうどんこ病に対しては、畝の排水を良好にし、こまめな枝整理、発病葉の速やかな除去によって防除に努めます。



↑生育初期のアブラムシの害を避けるためには、マルチングやシルバーテープの使用が有効。

エンドウの住みやすい環境

エンドウは冷涼な気候を好む作物で、耐寒性は強く、幼植物は0℃以下でも耐えることができます。

発芽適温

15～20℃です。

生育適温

12～18℃で、莢の肥大には14～18℃が必要です。5℃以下では花数が少なくなります。耐暑性は弱く、気温が高くなるにつれて不良莢、落花、落莢が増加し、28℃以上では生育が衰えます。

土壌適応性

エンドウの土壌適応性はかなり広いですが、排水のよい耕土の深い壤土、あるいは粘土質土壌が適します。

土壌酸度

酸性土壌に対しては特に弱い作物です。土壌pHは6.0前後になるように、石灰を10㎡当たり0.8～1kgを基準に施します。

豆類の連作障害

豆類を同一の畑で連作すると次第に生育が不良となり、ついにはほとんど生育しなくなります。この現象は「いや地」と呼ばれ、3～5年の間隔で輪作を行う必要があります。特にエンドウは豆類の中で連作障害が最も激しく起こる作物で、やむを得ず連作を行う場合は、土壌消毒を入念に行う必要があります。

ソラマメ



ソラマメ担当
河西 孝昭

旬を感じる品目で注目度もアップ！

直売所出荷向きの品種選定

多くの野菜が周年栽培によって年中いつでも店頭で並ぶ現在においても、ソラマメは初夏以外に見かけることは珍しく、旬を感じさせてくれる野菜のひとつです。このような旬の野菜は、直売所でもひととき消費者の目を引く存在になることでしょう。皆さんもぜひ、初夏の味覚ソラマメで消費者の目をぐっと引きつけてみてはいかがでしょうか。

3粒莢率が大きくボリューム感がある「三連」

ソラマメは、収穫後の鮮度低下が非常に激しい野菜です。そのような中、「三連」は“おはぐろが黒く変色しない”という特長があるため、新鮮さが長続きます。消費者は新鮮な野菜を求めて直売所へ足を運ぶわけですから、「三連」は直売所での販売にぴったりです。また、一般的な一寸ソラマメより3粒莢率が高く、太めの大莢が収穫できるという特長もあります。

莢が濃緑で美しい「仁徳一寸」

「仁徳一寸」は草勢が強く、収量性が高い品種です。莢色が濃緑なのでほかのソラマメとは一目で見分けられ、店頭で並んだ際に見た目のインパクトがあります。また豆色も鮮やかな濃緑色で、ゆで上がりの色がとても美しいため、料理の彩りとして重宝します。

三連 PVP

- 3粒莢率が特に高い大莢の一寸ソラマメ。
- 子実の色は鮮緑でへそ（おはぐろ）の色が変色しない。
- 生育旺盛で栽培容易。

月		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
中間地	露地											
	ハウス											
暖地	ハウス											
	露地											



↑収穫した「三連」。3粒莢率が高く、おはぐろが変色しないので新鮮さが長続きます。

ブリーダーズ・アイ

ビギナーにぴったりの「三連」

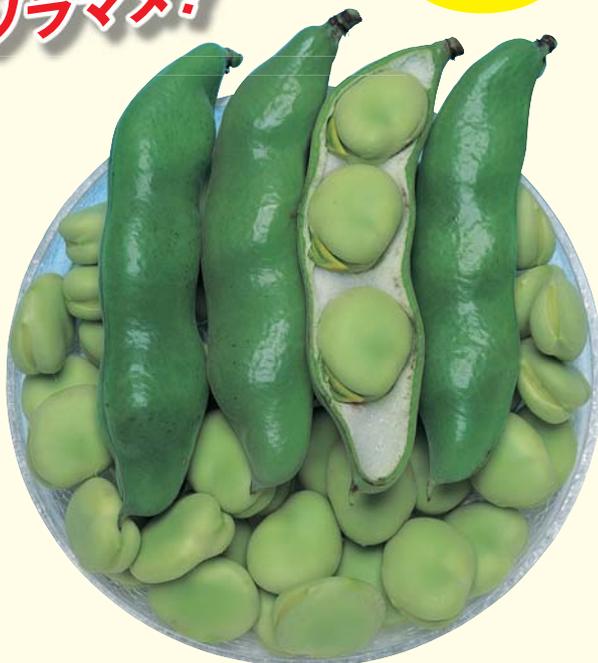
ソラマメの着莢率や秀品率を上げるためには、株内の受光態勢をよくすることが重要です。各枝が1～2節ほど開花したところに、1株当たり6～8本の太い枝を残し、細い枝や発育の遅れた無効枝の除去を行います。「三連」は無効枝の発生が少なく、煩雑な整枝作業の手間がかからないため、家庭菜園ビギナーにもぴったりの品種です。



↑受光態勢をよくし、着莢率・秀品率を上げよう！

3粒莢率が高い大莢の一寸ソラマメ!

ブリーダーズ・アイ
おすすめ



播種とポット育苗のポイント

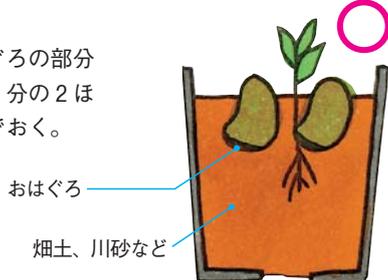
一般的な秋まき春どり栽培では、10月中旬～11月上旬に播種します。

播種は9cmポットにおはぐろを斜め下にして3分の2ほどを埋め込み、覆土します。発芽までは乾燥に注意しながら地温15～20℃を保ち、発芽がそろえば徒長防止のためハウスの外に出して育苗します。本葉2～3枚のころに、連作を避けた日当たりの良好な畝に定植します。

育苗（タネまき）

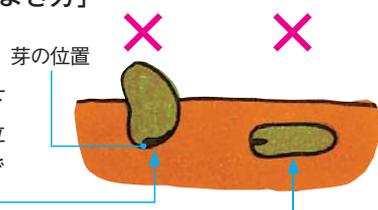
直播もできますが、鳥虫害の予防、発芽や初期生育をそろえるために苗作りをします。

2粒ずつ、おはぐろの部分を斜め下向きに3分の2ほど縦に埋め込んでおく。



[好ましくないまき方]

おはぐろは斜め下向きでも、芽の位置が下向きなので芽が出にくい。



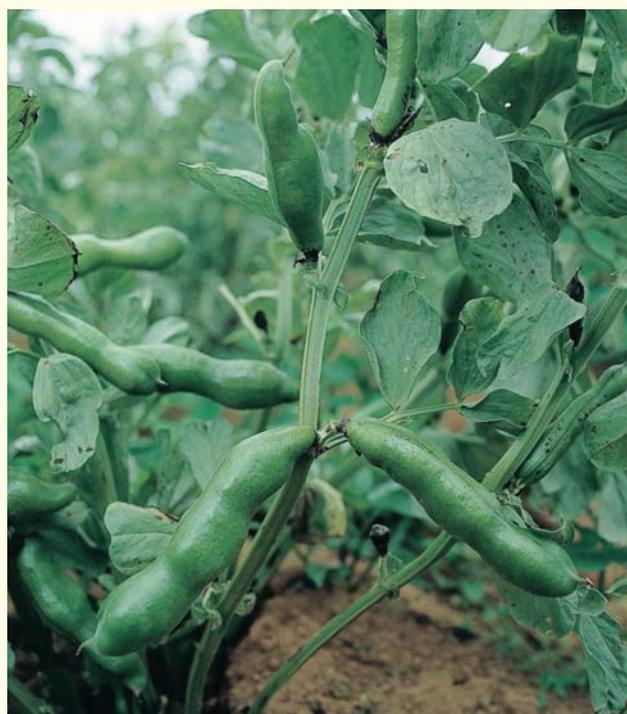
水平に横たえて覆土すると、湿りでマメが腐りやすい。芽が出てマメと直角に曲がって出る。

秀品率を上げる管理のポイント

莢の発育期には乾燥に注意し、一番莢が大きくなるころ積極的に灌水・追肥を行い、莢の肥大を促します。

適期収穫のポイント

収穫期は莢の色、豆の熟度で判断します。収穫期が近づくと莢がやや垂れ下がり光沢が出て、莢の縫合線部分が濃くなってきます。開花後35～40日ぐらいが目安です。試しに莢を割ってみると、肥大した豆が胎座から容易にはがれます。



↑ソラマメの収穫適期は、莢がやや垂れ下がり光沢が出て、莢の縫合部分が濃くなってきたころ。

ソラマメの住みやすい環境

ソラマメは冷涼な気候を好む作物で、幼植物の耐寒性は強く、かなりの低温に耐えられます。

発芽適温

20℃で、10℃以下と35℃以上では発芽率が著しく低下します。

生育適温

16～20℃で、耐暑性は弱く、25℃以上では生育が衰えます。

土壌適応性

ソラマメは多くの土壌水分を必要とするので、乾燥の被害を受けやすい野菜です。このため耕土の深い壤土や粘質土壌が適し、火山灰土壌には適しません。

土壌酸度

酸性土壌に対しては特に弱いので、土壌pHは6～6.5になるように、石灰を10㎡当たり0.8～1kgを基準に施します。ソラマメは根の酸素要求量が多いので、過湿は厳禁です。特に、水田裏作では排水対策を十分に心掛ける必要があります。

栽培Q&A

Q.ソラマメの病虫害にはどんなものがありますか？

A.ソラマメは病虫害を受けやすい作物です。特に赤色斑点病は莢の品質を低下させる病害です。気温の上昇とともに茎葉が繁茂して発生が助長されるので、適期の整枝を心掛けます。また、アブラムシは急激に増殖してウイルス病を媒介するため、見つけ次第確実に除去します。

金魚草



金魚草担当
安井 勝

連続出荷で金魚草をアピール!

直売所出荷向きの品種選定

金魚草はカラフルな花色がそろい、開花期間が長く栽培も容易なため、直売用の切り花品目にぜひ取り入れたいものです。各地にある春の観光花摘み園ではポピーや菜の花、ストックなどと並び、露地栽培でもおなじみの定番品目として広く利用されています。

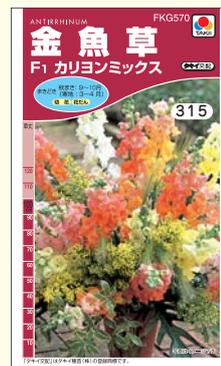
ビニールハウスなどを利用した施設栽培では、早生系品種を使用すれば秋から春まで長期にわたり開花します。また、1株から数回採花することができ、小面積の栽培でも仕立て方次第で少量ずつ連続的に出荷が可能なので、直売所に向く便利な切り花といえます。

通常の花型に加え、より大輪で花の開くタイプのペンステモン咲き（ベル咲き）品種は、仏花用だけでなく洋花系のアレンジにも使いやすく、人気が高まっています。

「F₁カリヨン」系

花径5～6cmの大輪ペンステモン咲きの極早生品種です。分枝が旺盛で採花本数が多く、また低温開花性にすぐれており、冬季の栽培でも最低5℃程度の管理で開花させることができます。花色は9色と幅広いラインアップです。主要色となる「ホワイト」「ライトピンク」「ピンクインプ」「イエローインプ」「クリームイエロー」のほかに、パステル調の「アプリコット」「サーモン」、濃い色目の「パープル」「アンティーク」があります。

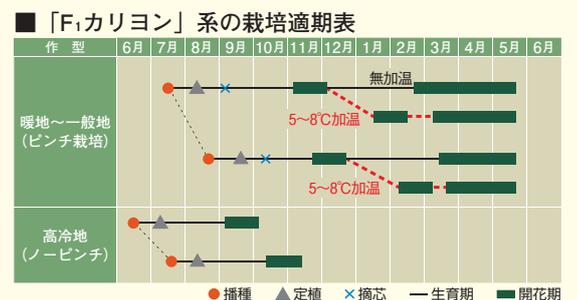
全9色の「F₁カリヨン」系



F₁カリヨン ミックス



F₁カリヨン アンティーク



播種から定植まで

秋から開花させるには、一般地や暖地では7月中旬～8月下旬に播種し、高冷地では6月下旬～7月下旬の播種になります。無理な早まきは1番花のボリューム低下を招くので注意が必要です。タネは細かいので288穴サイズのプラグトレイに2～3粒ずつまき、覆土は必要ありません。この時期は高温期なので、遮光、換気などをしてなるべく涼しくなるよう管理してください。

一般地、暖地においてあまり急がずに年末以降の開花をねらう場合は、暑い時期の育苗を避け、9月になってから播種します。

定植は播種後約4週間の本葉4枚程度の苗で行います。元肥は10㎡当たりチッソ、リン酸、カリを成分量で各150g程度施し、定植間隔は株間15cmの6条程度とします。

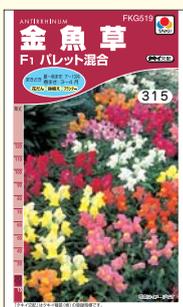
生育期の管理

ピンチ栽培が一般的です。定植後10日ほどしたら本葉を2節程度残して摘芯します。生育にともないフラワーネットを2～3段張り、蕾が見えてきたら水は控え気味にして徒長を防ぎます。

鉢物販売におすすめの「F1パレット」系

草丈15～20cmのコンパクトな矮性種です。全14色の豊富な色ぞろえで、開花が早く播種から2カ月半程度でポット出荷が可能です。主枝の開花に続き側枝の開花が早いので、観賞期間が長く、寄せ植えなどにも最適です。

F1パレット混合



収穫とその後の管理

5～6輪開花したころが採花の適期です。1番花の採花後は追肥を施し、2番花の発生を促します。2番花以降の回転を早めたい場合は、冬季に8℃程度の加温を行うとよいでしょう。暖房費を抑えたい場合は、最低5℃から凍らない程度の温度で管理します。

2番花以降は花茎の本数が増えるので、混み合うようであれば常時枝数が4～5本になるように枝整理を行います。冬季の花茎は太くなりやすいため、灌水は少なめに管理し、茎の太さをなるべく1cm以下に抑えます。



→ 「F1カリヨン」系は回転が速く、切って2カ月後には2番花が咲き始める。

主な病害虫防除

- ヨトウムシ…生育初期から発生するので、見つけ次第殺虫剤で防除します。
- アブラムシ…新芽や蕾に発生しやすいので、なるべく発生初期に殺虫剤で防除します。
- 灰色かび病…低温期のハウス内で発生しやすく、花弁や花首が傷みやすくなります。換気や送風、枝整理を行い、殺菌剤で防除します。

出荷のヒント

ピンチのタイミングをずらして1番花を連続開花させる!

出荷期前半は一斉に開花して出荷量の山谷ができやすいので、定植後、ピンチの時期をずらして順次開花することもできます。

